

社会福祉法人 やしの実保育園 平良 奈津子さん

八重山高校出身 (沖縄中央学園 2011年3月福祉保育科卒業)

## かわいいぴよぴよ組の子どもたちから 元気をもらい、島で保育士頑張ってます。

私は今、保育士として石垣島で頑張っています!!

もともと身近に小さな子どもがたくさんいる環境で育ったため、子どもたちに囲まれて仕事ができたら幸せだな〜と思ったのをきっかけに、中学の頃から保育士を目指そうと決めました。

高校3年生の時、沖縄中央学園のオープンキャンパスに参加して先生方や先輩たちがとてもイキイキしていて、私自身もこのびのびと「保育」を学ぶことができるはず!と、当初は反対していた親を説得し、無事入学することとなりました。

現在勤めている園は、自分の出身園であり保育園実習でもお世話になった場所です。島を出た時、絶対地元には帰らな

い!って決めていたんです(笑)。でも、いざ実習の時に戻ってみて、居心地の良さや人の温かさに改めて気づいて「石垣の子どもたちのために頑張りたい!」と地元に戻ることを決めました。

学校のある沖縄市では学生寮での初めての一人暮らし。とても自由な反面、誰も居ない部屋に帰るのが淋しい時もありました。ですが寮の隣近所には同級生がいる環境で安心できました。もともとは料理もちつとも出来なくて…洗濯、掃除など今まで母親頼りだった事が身に染みて分かりました。でもご心配なく、今では肉じゃがや煮物や、チーズケーキなんかも作れます!(笑)

現在高校三年生の皆さんは、



地元を離れる事に期待と不安で胸がいっぱいだと思います。知らない世界に飛び込むのはとても勇気がいりますが、その一歩は夢へのとても大きな一歩です。今しかできないことを思いっきり楽しんでください。時には大きな壁に苦しむこともあると思います。立ち止まり、後ろを振り向いても絶対に前に進むことを辞めないで欲しいです。そうすれば何かしらの未来に繋がっていくと思います。「地元」という帰る場所があること、支えてくれる場所があること、家族や友人の存在を忘れず感謝の気持ちを持ってください。いつかどこかで保育士として一緒に仕事を…なんてことが起きるのを密かに期待しています。夢に向かって頑張ってください!!

私自身は子どもたちや保護者の方から「先生」と呼ばれることに喜びを感じながらも「保育士」という責任の重さを実感しています。新人だからこそその不安は大きいです。しかしそれをプラスに考え新人の今しか聞けないこと、学べないこと感じられないことを大切にしていきたい。失敗を恐れずに「保育」に向き合っていきたいです。

### “保育士”というお仕事について

厚生労働省が管轄する国家資格を取得した、専門的知識及び技術を持ち児童の保育及び児童の保護者に対する、保育に関する指導を行うことを業とする者を指します。短期大学もしくは専門学校(短大併修)にて修得することが可能。現在では保育園に留まらず、子ども写真館・キッズショップのスタッフ、病棟保育士など幅広く活躍することができる職業です。

